

平成 27 年 6 月 23 日

News Release

昭 和 ゴ ム 株 式 会 社  
代表取締役社長 小川 和豊  
(TEL. 04-7131-0181)

### タイにてエボナイトパウダー生産開始 ～SHOWA RUBBER (THAILAND) CO., LTD.～

さる 4 月 1 日に操業開始いたしました、タイにて各種ライニング施工を行う弊社子会社、  
Showa Rubber (Thailand) Co.,Ltd. (以下「SRT」) にて、エボナイトパウダーの生産に成功し、  
販売を開始いたしましたので、ここにご報告させていただきます。

同製品は当社が事業等を承継いたしましたタイ AJINOMOTO 子会社である AET  
Manufacturing Co.,Ltd. (以下 AET) の製品であり、この度は当社が承継いたしましたのち初の  
生産開始となります。この度の施作により当社ゴム事業は初めて原料製造販売分野に踏み出し  
たこととなります。



エボナイト製造設備



エボナイトパウダー

エボナイトとはとは、伸び率 3%程度と弾力性がなく非常に硬い硬質ゴムです。ボーリング  
ボールや、万年筆の原料として使われることで知られ、一般的には粉状・板状・棒状で販売さ  
れています。

そのエボナイトを粉状にしたものがエボナイトパウダーで、主にはゴム材料を強化する用途  
で用いられる主要原料の一つです。また世界的に見ても製造者は数少なく、AETはその有力な  
供給者でありました。

今後、タイおよび近隣諸国のみならず、世界各国への販売が可能となります。  
ご用命は、グループ各社の担当者（以下）までお願いいたします。

全域	Showa Rubber (Thailand) co.,ltd.	Boonthep Kiatpornpitak	<a href="mailto:boonthep@group.showa-holdings.jp">boonthep@group.showa-holdings.jp</a> ☎ +66-81-912-2349
日本	昭和ゴム株式会社	菅野 友亮	<a href="mailto:info@showa-rubber.co.jp">info@showa-rubber.co.jp</a> <a href="mailto:kanno@group.showa-holdings.jp">kanno@group.showa-holdings.jp</a> ☎+81-80-1156-9337
東アジア	青島昭明商貿有限公司	宗宮 保	<a href="mailto:shoji.t@group.showa-holdings.jp">shoji.t@group.showa-holdings.jp</a> ☎+86-150-5327-0016
マレーシア シンガポール	Showa Rubber (Malaysia) Sdn Bhd	横山 幸弘	<a href="mailto:yokoyama@group.showa-holdings.jp">yokoyama@group.showa-holdings.jp</a> ☎ +60-7-252-8000
インドネシア フィリピン	PT Showa Rubber Indonesia	Fery Dacou	<a href="mailto:oteyama@group.showa-holdings.jp">oteyama@group.showa-holdings.jp</a> ☎+62-21-29000397
ベトナム	Showa Rubber (Vietnam) Co.,Ltd.	Nguyen Ngoc Giau	<a href="mailto:giau@group.showa-holdings.jp">giau@group.showa-holdings.jp</a> ☎+84-90-777-1323

当社親会社にあたります昭和ホールディングス株式会社はこの度6月15日に中期経営計画「アクセルプラン2015」を発表し、アジアグローバル展開、新分野開拓、M&A・提携の三つを競争戦略の柱としております。この度のエボナイトパウダーの発売は、「アジアの交差点」タイ王国から、新しく原料分野に、M&Aによって踏み出したものです。従いまして、当社にとりましてもグループゴム事業にとりましてもまさにこの戦略を実現する端緒となったと考えております。

アクセルプラン2015 URL

<http://www.showa-holdings.co.jp/news/doc/news20150615.html>

今後とも「アクセルプラン2015」の実現として、「アジアグローバル展開」「新分野開拓」「M&A・提携」に加えて「所有しない経営」を徹底し、社業を拡大してまいります。

以上